（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（リコージャパン株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		当社では、毎年サステナビリティレポート（旧CSRレポート）、SDGsコミュニケーションブックを中心とした情報誌を発行し、社内外への情報発信を実施している。社内では、サイネージ活用した動画による啓発も実施 ※企業理念：リコーウェイ（三愛精神）								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		上記同様、サステナビリティレポート上でガバナンス項目としてリコーグループ企業理念と遵法経営による経営の透明性を確保し、ガバナンス構築を実践 ※サステナビリティレポート35掲載																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		当社は、経営企画本部内にSDGs専門部署SDGs推進グループ、広報グループと連携し全国支社・事業部にSDGsキーパーソン（520名）を設置する事で地域間での情報共有や展開を常に共有し実践している ※毎月１回キーパーソン研修会（オンライン）も実施																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		リコージャパンでは、ステークホルダーの皆様へサステナビリティレポート、SDGsコミュニケーションブックを通し情報提供する機会と、リコーグループとしては統合報告書、ESGデータブック、TCFDレポート、サーキュラーエコノミーレポートを発行																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	当社では、毎年サステナビリティレポート、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾌﾞｯｸを中心とした（旧CSRレポート）情報誌を発行し、社内外への情報発信を実施している。社内では、サイネージ活用による啓発も実施 ※企業理念：リコーウェイ（三愛精神）																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	万が一の大災害、事故が発生した場合に、それによる被害を最小限に抑え、事業をすぐに復旧し継続出来る様BCP（事業継続計画）を構築済。実施・運用・教育・訓練・是正・見直しを含めるBCM（事業継続マネジメント）まで実施※サステナビリティレポート36掲載									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	地震、水害などの自然災害が発生した際は、速やかに社員、家族やパートナー、事業所設備等の被災状況を把握し安全の確保と事業継続に繋げる為の体制を全国48支社に展開（Teamsによる展開） ※サステナビリティレポート36掲載								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		サステナビリティレポートにも掲載されておりますが、社内ガバナンスを図りコンプライアンス、リスクマネジメント等を常に啓発実施している。毎月月初CSR-Week（e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ）にてﾘｽｷﾆﾝｸﾞ含め実施										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		マテリアリティ（重要社会課題）に対して、具体的にどのような技術で課題解決を実現しようとしているかを示し、さらにその技術を積極的に利用できる自社特許を有していることを認識いただくことで、ステークホルダーの皆様の評価向上やパートナーシップ促進に寄与すると考えています。また、このような可視化は発明者自身のSDGsへの貢献を再確認できる機会にもなり、イノベーションを起こす社員のエンゲージメントを高めることに繋がる								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		弊社は「法令に基づく場合」「人の生命、身体または財産の保護」「国の機関等への協力」に該当する場合を除き、特定個人情報を第三者に提供いたしません。弊社は、関連法令に基いた「特定個人情報の取扱い」に関する社内規定を定め、遵守。ISMS認証取得																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●	事業活動全般において広く「影響力を及ぼす範囲」を認識し、社会的責任経営を推進。特にサプライチェーンには、関係する企業や人々が多く、意図しないマイナス影響を回避または最小化する配慮が重要。リコーは、グローバルなサプライチェーンにおける企業の社会的責任を推進する「責任ある企業同盟」RBAに加盟し、人権・労働・環境等の国際的なガイドラインに照らしながら、自社の生産工場のみならず、サプライヤー企業も含めた倫理的な行動を徹底し、継続的に活動のレベルアップを図っています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		当社は、リコーグループ行動規範に基づき基本的人権の尊重を遵守。具体的行動規範として①一切の差別を排除する。②個人のプライバシーを保護する。③不当な労働を排除する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		様々な働き方（勤務形態）により、当社では働き方改革に積極的に取組。えるぼし、ホワイト５００、プラチナくるみん、テレワーク先駆者100選等取得・認定※地域ごとで、ダイバーシティ&インクルージョン、健康経営に関する認定や受賞を受けています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		5年連続、健康経営優良法人2022（ホワイト500）認定を受けております。また、全国各支社・事業部で安全衛生委員会を発足し月単位での定例会も実施			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		リコージャパンでは、国籍、性別、年齢、障がいの有無など外面的な多様性だけではなく、一人ひとりの経験、感性、価値観など内面的な多様性を尊重し、イノベーションを生み出せる組織づくりをめざしてます※サステナビリティレポート31、32掲載				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		自律的な成長を築く為に、大きく３つ（職種専門教育（プロフェッショナル育成・強化）、階層教育（変革・共創型リーダーシップ強化）、共通・節目教育（共通））のカテゴリーで教育プログラムを実践				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（リコージャパン株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・自立型個人の能力強化 ・高い個の能力に裏付けられたチーム力の向上 ・個人の力を引き出しチーム力を高める共創型リーダーシップ強化 ・ダイバーシティ/健康経営					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		14番同様、当社はホワイト500認定企業になります。働き方改革にも積極的に取組んでおります。			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	DX推進体制として、2021年7月社内DX及びお客様のDX支援を推進する社長直轄の諮問機関として「DX委員会」を設立。①DXに関する全社活動方針決定②社内DX推進③お客様へのDX提供価値の創造④環境整備※サステナビリティレポート28、29掲載								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●				3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		環境ハンドブックV6.00（グループ企業統一）をベースに、環境経営を実践し環境目標を設定。※ISO14001登録 ※2022年度は、排出物の抑制と有価物化による廃棄物量の削減（前年比）1.0%削減/Co2排出量削減30%削減を目標値として設定			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		環境ハンドブックV6.00（グループ企業統一）をベースに、環境経営を実践し環境目標を設定。 ※脱炭素社会の実現：＜自社の電力・ガソリン使用によるCO_2排出量削減＞2015年度比▲30%（排出量22141t）							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		脱炭素取組として、2点の取組を実践。①高効率設備の導入＝設備面での取組み（事業所ZEB化、車輌のEV・PHV化・低燃費車入替） ②社内活動による取組み（環境ハンドブックの周知、環境マネジメントシステムの運用）		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		■使用済製品回収・リユース・リサイクルと広域認定制度 ■３R実践モデル例：リコンディショニング機（RC機）販売も実践 ■複合機導入1台につき、1本のマングローブ植林も実施（フィリピン、インドネシア）									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		■リコーグループ生物多様性方針と環境社会貢献活動の実践 生物多様性を保全することが、真に豊かで持続可能な社会の構築に繋がると考え、2009年に「リコーグループ生物多様性方針」を定めました。この方針に基づいて、事業活動に伴う環境負荷を削減すると同時に、地球の再生能力を維持し、高める取り組みを進めています。						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		■使用済製品回収・リユース・リサイクルと広域認定制度 ・段ボールの有価物化、雑誌・シュレッダーチップの有価物化 ・お客様で不要となったリコー製品を回収し、リユース・リサイクルすることにより、より一層の循環型社会実現に向けた取組みを進めています。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	【予定】 災害備蓄品（賞味期限6カ月確保）等の提供を今後検討中。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	ISO14001環境マネジメントシステム認証取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	当社では、毎年サステナビリティレポート、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾌﾞｯｸを中心とした（旧CSRレポート）情報誌を発行し、社内外への情報発信を実施している。社内では、サイネージ活用による啓発も実施 ※企業理念：リコーウェイ（三愛精神）												12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	■事業所建屋自体がZEBReady化されている事で、脱炭素貢献に繋がっている ■再エネ電力提供によるCo2削減量（契約件数）							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●	社会貢献活動として、植林活動にも参加 ※2022年度は諸事情により不参加						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（リコージャパン株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	リコーグループとして、1. 脱・化石資源由来バージンプラスチックの推進 2. 材料リサイクル可能な設計の推進に取り組んでいる												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	■特に設定はしていない。 ・マイカー通勤以外の社員は必然として公共交通機関の利用促進 ・2022年10月-11月の2ヵ月間リコージャパン健康チャレンジプログラム実施 ※毎週水曜日は、マイボトルデーの実践									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		■「お客様の声」をもとにした改善活動（PDCA） リコージャパンでは、CSを高めるため、お客様の声を「受け取る活動（コールセンター、保守活動など）」と「引き出す活動（CS調査、お客様訪問など）」の両面に注力し商品やサービスの改善に活かしています。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		■“色覚の多様性”に配慮し、誰もがより快適に情報を活用できる社会づくりを推進 https://jp.ricoh.com/csr/consumer/userfriendly/ ・報告書等でのCUD対応、製品（カラー複合機、カラープリンター）、社員向けガイドライン、CUDに配慮した建屋等									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		■2022年度、肝付町、いちき串木野市、鹿児島市（2回）等での清掃活動に参加 ■リコー社会貢献クラブ・FreeWill（社員参加型の社会貢献活動支援組織で、日本国内リコーグループの参加会社の社員が任意）21年度15,549,190円	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	毎年（コロナ禍期間中は見合わせ）、鹿児島市内の高校1年生を対象とした1週間のインターンシップ受け入れを実施。 ※2023年2月予定				4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	■地域雇用を最優先とし、新卒、キャリア採用等県内在住者の県内就職の促進を実施				4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	■県内本土6事業所に、大島事業所（奄美市）、屋久島SS、種子島SS、徳之島SS、沖永良部SSの離島へのサービス拠点を設置		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	■（2020年）県内自治体様にて、総務省主催の関係人口創出事業のご支援を実施 ※地域住民-首都圏在住ふるさと納税者とのリモートによる意見交換会のご支援								8			11	12			15		17